

公益社団法人日本セラミックス協会
2024 年度事業計画

2024 年 4 月 1 日より
2025 年 3 月 31 日まで

2024 年度は、2023 年に策定した「2023～2025 年度中期経営計画」に基づき、戦略的課題である「社会への価値提供」、「協会活動の活性化」、「協会の組織力強化」の目標達成に向けた活動を進めていきます。

「社会への価値提供」としては、引き続き、産官学連携活動、国際交流事業、男女共同参画活動の推進に注力し、教育啓発活動の強化にも努めます。産官学連携活動では、支部や部会の課題でもある産からの参画を増やす試みを進め、連携活動を活性化していきます。国際交流活動では、2026 年 9 月 6 日～11 日に札幌で開催予定の国際セラミックス会議（ICC11）の実行委員会を昨年、立ち上げましたが、本年、準備活動を本格化します。また、本協会ならびにセラミックス分野の発展に顕著な業績を挙げた海外在住の方を本会として称える「日本セラミックス協会国際フェロー賞」の創設に関してもその制度設計を具体化していきます。更には、年会や秋季シンポジウム等における国際セッション開催を通して国際交流の活性化を図ります。男女共同参画活動では、視野を一層広げたダイバーシティに関わる啓発活動を進め、教育啓発活動としては、特に、一般小中高生に対する教育啓発活動を始めるとともに、子供向けパンフレットや中高生向け YouTube 動画を作成していきます。さらに、我が国の技術、産業の発展や国民生活、文化等に対して貢献した、セラミックス分野における技術史的、文化的価値の高いものを協会として発信し、次世代に伝えることを目的とした「セラミックス遺産」認定制度を開始すべく、制度設計を完了させます。

「協会活動の活性化」としては、年会・秋季シンポジウムへの産業界からの参加者促進策として特別会員への無料参加枠を設定し、より一層の内容充実と魅力度向上に努めていきます。また、夢ロードマップを更新するとともにカーボンニュートラルなど新しい研究分野での新部会設立に向けた支援を進めていきます。更には 支部、部会の課題について情報共有しながら、連携して課題解決に取り組み、協会活動をより広げていきます。

「協会の組織力強化」では、2023 年度よりスタートした新体制での 1 年間の活動を振り返りつつ、微修正を加えながら、より機能的、効率的な事業運営に努めていきます。特に若手の交流の場を確保したり、特別会員へのサービスを充実させ、会員の満足度向上を目指します。財務に関しては、公益法人財務 3 基準を満たすよう留意しながら、外部環境変化に適応させます。

定常的な事業活動として、本部主催では以下に示すような活動を行う予定で、支部・部会主催では別紙に示すような活動を行っていく予定です。

主な事業計画

行事 (公1)	・第37回秋季シンポジウム(2024年9月10日～12日 名古屋大学(東山キャンパス)) ・2025年年会(2025年3月5日～7日 静岡大学(浜松キャンパス))
出版 (公2)	・Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12回/年。特集号2回予定。 ・セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 冊子版2000部、Web版4000部、総頁1000頁。特集記事、その他連載
研修・ 講習会 (公3)	・セラミックス大学2024(オンライン開催)計7回講義
教育・啓発 セミナー (公4)	・高校課題研究フォーラム(2024年8月) ・高等学校生徒セラミック作品展(2024年3月～) ・教材用セラミックス関連サンプル(見本)の整備と貸出 ・理工系人材育成活動助成金公募の実施 ・男女共同参画企画「セラミックスカフェ」(第37回秋季シンポジウム) ・男女共同参画企画「セラミックスカフェD&I座談会」(2025年3月年会)
標準化 (公5)	・標準化特別企画(第37回秋季シンポジウム) ・第19回セラミックス関係分析技術者研究発表会 ・化学分析小委員会創立50周年記念行事
国際交流 (公6)	・Journal of Asian Ceramic Societies (JAsCerS)(年間4回発行) ・国際セラミックス会議(ICC11)に向けての準備活動 ・年会および秋季シンポジウムでの国際セッション(年会はアメリカセラミックス学会との共催)の開催
広報 (公4・ 他2)	・協会ウェブコンテンツ拡充および協会活動PR(公4・他2) ・協会誌編集委員会との連携によるウェブコンテンツ「セラミックス博物館」のコンテンツ追加・更新(公4) ・X(旧Twitter)での、広報および啓発活動への利用推進(公4) ・教育委員会、出版員会と連携した中高生向けの啓発動画の制作・公開(公4)
表彰 (他1)	・第9回日本セラミックス大賞 ・第5回日本セラミックス協会功績大賞 ・第79回(2024年度)功労賞、学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞 ・第58回(2024年度)セラミックス貢献賞(表彰式2024年10月11日) ・第19回(2024年度)協会活動有功賞 ・2024JCS-JAPAN 優秀論文賞・優秀総説賞 ・国際交流奨励賞(21世紀記念個人冠賞(倉田元治賞、井関孝善賞、倉田元治学生賞)) ・第48回日本セラミックス協会学術写真賞 ・2024年会優秀ポスター発表賞 ・第10回日本セラミックス協会フェロー表彰

<会議開催計画>

1) 理事会 5回(5月、6月、7月、11月、2025年2月)

2) 委員会(開催数)

顧問会	1	広報委員会	3
戦略会議	2	標準化委員会	2
運営会議	2	化学分析小委員会	3
支部長・部会長会議	5	教育委員会	3
会員・サービス委員会	2	セプロ小委員会	2
行事戦略委員会	2	男女共同参画委員会	3
表彰委員会	3	産学連携委員会	2
セラミックス遺産認定制度検討小委員会	4	役員候補者推薦委員会	1
科学・技術委員会	2	日本セラミックス大賞選考委員会	1
国際交流委員会	2	日本セラミックス大賞候補者推薦委員会	1
行事企画委員会	4	功績大賞選考委員会	1
年会小委員会	4	功績大賞候補者推薦委員会	1
秋季シンポジウム小委員会	4	功労賞選考委員会	1
編成会議	1	学術賞、進歩賞、技術賞、技術奨励賞選考委員会	2
学術写真賞選考委員会	1	セラミックス貢献賞選考委員会	1
論文誌編集委員会	12	国際交流奨励賞選考委員会	1
優秀論文賞選考委員会	1	協会活動有功賞選考委員会	1
協会誌編集委員会	10	フェロー表彰選考委員会	1
出版委員会	5	アドバイザーボードミーティング	1
英文書籍企画 WG、啓発 WG、 新刊出版 WG	各 5		